

ブースNo
59



長岡技術科学大学 地域防災実践研究センター （防災データ羅針盤）

TEL:0258-47-9391/ FAX:0258-47-9900

<https://www.nagaokaut.ac.jp/center/chiikibousai/index.html>

〒940-2188

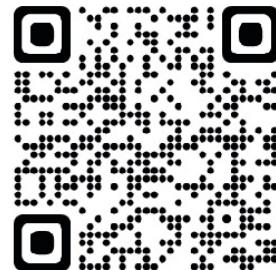
長岡市上富岡町1603-1

こんな組織と繋がりたい

- ・労働災害を減らしたいと考える企業他
- ・新入社員研修などの人材育成ツールをお探しの企業

大学機関概要

- 代表者 / 三浦 友史
- 所属 / 地域防災実践研究センター
- 専門分野 / 防災、減災
- Email / chiiiki@jcom.nagaokaut.ac.jp
- 担当者 / 竹橋 佑紀



PR 販路 産学 情報 人材 防災データ羅針盤

▶ 研究内容の特徴

企業等では、発生した災害データを報告書として記録し、膨大に蓄積をしていることが、ほとんどであるが、集めたデータの有効活用ができない場合があります。今回、長岡技科大と東電HDとの共同研究で開発した「防災データ羅針盤」では、集めた災害データをAIにより解析／可視化することで、災害のパターンを詳細に分析することができます。分析した災害データは「防災データ羅針盤」を通じて、当日の現場対応（環境状況）に合わせた、危険予測やワンポイントアドバイス、過去の災害情報を用いた危険予知訓練に活用することができます。

▶ 技術アピール・マッチングニーズ

- ・企業がもつ災害データ（テキストデータ等）を防災データ羅針盤にインプットすることでAIによる過去の労働災害を詳細分析ができます。
- ・防災データ羅針盤はPCだけでなくタブレット端末でも使用できるため、現場作業前のTBM-KYに活用できます。また、ユーザ側の操作として、直感的に操作できる閲覧モードや詳細検索に適したテキスト検索モードなどが実装されており、用途に合わせた活用が可能です。
- ・「過去の災害から学ぶ」では、防災データ羅針盤から、選出した過去の災害を題材にケース・スタディを行うことができ、発災のパターンや防災のノウハウを学ぶことができます。

ココがスゴい！



- ・報告書を作成
- ・大量に蓄積



防災データ羅針盤 ↵

- 膨大なデータを活用できていない

全社員で情報共有して事故の再発を回避したい

- 個々に報告書を読み憶憶
- 憶えきれずミスの繰り返し

発災のパターンを分析して防災のノウハウを伝承したい

- 報告書を検索するにもクエリーは何がよい？
- ヒットした報告書を読むのが読み比べに時間がかかる

